

2012 年度 第 1 回トライアル委員会議事録

【ダイジェスト版】

開催日： 2012 年 11 月 15 日（木） 午前 10 時 30 分～午後 5 時 30 分

開催場所： 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会・会議室

I. 前回議事録の確認

2011 年度第 2 回トライアル委員会議事録が提出され、承認された。

II. 2012 年度主要競技会開催状況報告

2012 年度全日本 TR 選手権シリーズ全 7 戦の開催報告が提出された。

(1) 参加台数

全日本の合計数 104 台(1 大会あたり平均)は、前年比 110%。

クラスごとでは IAS が 10 台(1 大会あたり平均)で 104%、IA が 34 台(1 大会あたり平均)で 107%、IB が 58 台で 109%といずれも増加。昨年、震災の影響で中止となった関東・近畿大会の開催が今年あったことで、参加台数の増加に大きく影響しことが要因とみられる。

(2) 観客数

前年比 139%と増加し、これも関東大会・近畿大会の開催が大きく影響した。

(3) TR グランドチャンピオン大会報告(西委員長)

- ・初めての会場となったが、ロケーションの素晴らしい大会だった。
- ・ 63 名の参加者のうち、14 名が十代で、うち 5 名が 10 位以内に入賞。(ほとんど関東所属)
→TRGC 大会は、若手の登竜門とした大会として今後も開催すべき。
- ・ 女性ライダーも多数参加。

III 2012 年度全日本トライアル選手権シリーズランキングの承認

IAS、IA、IB クラス全てのシリーズランキングが承認された。

(1) IB → IA(自動昇格)

武井誠也、大神和輝、岩田悟、伊藤紀夫、金沢清志

(2) IA → IAS(自動昇格)

加賀国光

(3) IA → IAS(申請昇格)

成田亮、永久保恭平、成田匠、藤原慎也

(4) IAS → IA(申請降格)

田中善弘、斉藤晶夫、宮崎航、滝口輝

(5) IAS → IA(自動降格)

田中 裕人 三谷 英明

IV. 2013 年度トライアル主要競技会日程調整

ロードレース競技会の日程も考慮し主要競技会のカレンダー調整が行われ、以下の通り決定し承認された。

第 1 戦	関東大会	3 月 10 日	まかべ TR ランド
第 2 戦	近畿大会	4 月 14 日	名阪スポーツランド
第 3 戦	九州大会	5 月 12 日	小田浦和田山タナカ森林農場(熊本県)
第 4 戦	北海道大会	7 月 14 日	わっさむサーキット
第 5 戦	中国大会	9 月 22 日	フィールド幸楽
第 6 戦	中部大会	10 月 13 日	キョウセイドライバーランド
第 7 戦	東北大会	10 月 27 日	スポーツランド SUGO
FIM トライアル世界選手権シリーズ日本 GP 4 月 27 日～28 日 ツインリンクもてぎ			
トライアルデナシオン 9 月 8 日 (フランス)			
トライアルグランドチャンピオン大会 11 月 10 日 真壁 TR ランド(関東)			

世界選手権日本 GP 大会のオーガナイザーであるツインリンクもてぎ藤岡氏より、今年 4 月に開催される予定となったことが報告され、TR 委員会へ協力の要請がなされた。

V. 国内競技規則の改訂案について

1. ライダー同士のお助けの規則化

規則書 244 ページ アシスタント 8-1-4 に追記

「ライダー同士の危険な箇所での補助行為のみ、許可される。」

- ・ 負傷した場合・・・当該大会出場選手の為、保険は認められる。
- ・ 補助する選手は、当該競技会に出場しているライダーで 1 ライダーにつき 1 名と解釈する。
- ・ アシスタントが登録されていないライダーのみ適用される。
- ・ 全日本全戦で全セクションに対して適用される。
- ・ ゴールしたライダーが競技中のライダーの補助を行うことは認められない。

等の意見があったが、具体的な制限はせずに補助行為のみ許可することが規則書に明文化される。

1. 地方選手権昇格基準の見直し

最終戦まで参加してもらえることを目的に順位昇格にしてほしいとの要望が提案され、ポイントと人数制昇格に改訂することが決定した。

例) NB→NA 地方選手権シリーズと県大会の獲得ポイントに加えランキング順位の規定をする。

2. 緊急連絡先の対応

緊急時の問い合わせ先が不明確であるため、携帯電話等のもちまわりにより問い合わせ窓口としたらどうか。危機管理のひとつとして、MFJ にて検討することとなった。

3. TRGC 大会の規則

(1) 国内競技規則書に TRGC 規則の項目を追加すべき。

2014 年以降に国内競技規則書に追記するかどうか？別途普及作業部会で検討する。

(2) 四国地区にて TRGC 大会の開催をお願いしたい。

TR 委員長名で要望書を MFJ 四国ならびに四国 TR 部会へ提出することが承認された。

6. エキジビジョン 125cc の対応

入門クラスの活性化として、別途普及作業部会で協議することとなった。

7. イエローカードについて

大会中の不適切行為に対するイエローカード提示について、警告から始まり、よっぽどの行為が無いとの認識が強い。しかし、イエローカードを提示した時には既に違反行為の後であったりする為、定義づけが必要ではないか？との提案がなされた。

開幕戦でオブザーバーに対して、イエローカードの提示に対して躊躇しないよう指導する。

ライダー・アシスタントフリーフィンギにおいて、違反行為に対するイエローカードは積極的に出すことを伝え、違反行為の予防を徹底する。

8. 全日本指定ゼッケンについて

MFJ 東北と MFJ 中部からの提案として、IB クラスのゼッケンの振り方を簡素化してほしいとの要望が出された。

トライアル委員会としては継続したいが、MFJ 加盟団体事務局に継続をお願いするが、事務局内で不可能となれば、外注も検討してもらうよう提案する。

9. 技術規則について

オリジナルのリヤスプロケットカバーとキルスイッチの写真が参考資料として、提出された。

(1)と(2)が承認され、技術委員会へ上程されることが決定した。

(1) リヤスプロケットカバーについて

3-4-4 リヤスプロケットの外部はプラスチックシート等でカバーしなければならない。

(スプロケットの穴を全てふさぎ、指等が入り込まないようにする)

2013 年より、MFJ 公認競技会にて義務付け

(2) キルスイッチについて

キルスイッチ(またはティザースイッチ)

車両にはライダーにストラップ(ひも)で直結し、作動するキルスイッチを装備し、ライダーが車両から離れた際にエンジンを停止させる。

2013 年より、全日本で義務付け(アシスタントも含む)、地方選手権・県大会で推奨。

2014 年より、すべての公認競技会で義務付け(アシスタントも含む)

10. スクールの充実について

講習会申請料 2000 円を普及活動の一環として、無償としてほしい。

MFJ にて継続検討

11. オブザーバー勉強会の充実化

世界選手権シリーズまたは全日本選手権の大会前または定期的に各地セミナー(講習会)を行っていただくこととなった。

- ・ オブザーバーのレベル向上と判定の統一化は必要である。
- ・ セミナーに参加しない役員は、メインはできない等の対応も必要か？
- ・ 西委員長より、オブザーバー勉強会資料が参考資料として提出された。
- ・ 各地区での勉強会開催がベター。
- ・ 九州では競技役員専任のスペシャリスト育成を目指している。専門知識を習得させる代わりに待遇をよくすることで役員のなり手を増やしたい。
- ・ スペシャリストを他地区に派遣するやり方も今後検討すべき。

12. 競技役員減少に伴うライセンス取得方法の緩和策

(1) 国際 A 級・国際 B 級の選手に競技役員 3 級資格を講習会免除で与えるべき

(2) 役員制度(3 級役員の取得方法)

特に全日本では人材不足が問題となっている。

加盟団体及び地区 TR 部会の推薦で競技役員ライセンスが取得できるようにしてほしい。

上記提案は既に出ているものの、MFJ 事務局としては現状のシステムを大きく改訂しなければならないこ

ともあり、すぐに対応は不可能。継続審議とする。

13. 加盟団体の取組み

各地区に加盟団体事務局の全日本への取組み方が異なり、収支赤字の改善に向けて、適正に運用している競技会の内容を提供し、他大会の参考とすべきとの意見がだされ加盟団体会議に提案し、資料を提供して頂きたい要請することとなった。

14. MFJ グランプリ大会について

全日本 TR におけるグランプリ大会の開催が提案されたが、規定に合致していない項目が多く、条件が折り合わない。文部科学省の後援があることで、地元行政等の協力も得やすい為、考慮してほしいとの要望が提案された継続検討していくこととなった。

15. 審査委員会の設置と権限について

各大会におけるプログラム等の組織図にて、審査委員会の組織を公開し、競技が運営されていることを明記する。また開催規則集を確認し、国内競技規則書に必要な記載事項があれば記載するよう検討する。

16. インポーター会議での参考意見報告等

- ・ Fujigas ミーティングについて、小谷選手会長から報告された。
50名のスクール参加があった。
藤波選手と全日本ライダーのガチンコレースが行われる。
将来的には、MFJと選手会の主催で、ファンに対して同様のイベントが開催できるようにしたい。
- ・ 競技方式の統一化の判断材料として、例えば九州の予選決勝方式を別会場で開催する等し、効果測定をしてみてもどうか？
- ・ 割り込み防止対策(コリドーを狭くする方法も検討すべき)
進行係などが注意しておくよう心掛ける。
- ・ プログラムにサインスペースを設けてほしい

17. 昇格審議の各地区部会権限の見直し

昇格審議をなるべく簡素化する為に、地区 TR 部会に一任し、専門委員会と中央スポーツ委員会には報告することとしてほしいとの提案が出され、中央スポーツ委員会に上程することが決定した。

18. 競技会主催者への徹底要望事項

競技会出場時のライセンス不備や申請・報告書の未提出などが目立つ為、各地区委員長より、地区主催者へ指導して頂くよう事務局から要望された。

19. FIM ノンストップルール適用について

全日本選手権・地方選手権・県大会での適用は 2014 年以降とすることが承認され、2013 年は FIM での様子を観察し、継続検討されることとなった。

20. マウスガードの推奨について

西委員長より、来年から全種目においてマウスガード(マウスピース)が推奨とされることが承認された。

21. ライセンス優遇処置について

MFJ 事務局より、1月～3月のライセンス取得優遇措置について、報告された。

VI. 普及対策について

1. ハンドブックの改訂を行い、全国のスクール主催者が活用できるよう HP で公開する。
2. トライアルアカデミーの 2012 年開催状況が報告され、過去の卒業生の動向調査も行っていく。
3. デナシオン出場に関しては、2012 年は不参加となった。来年の出場に向けて既に選手会では意思確認

をおこなっているが、金銭的な問題は解消されていない状況。

4. 世界選手権のルーキーズクラスは来年度も継続する。(TRGC1位～6位、16歳以上に資格を与える)
5. 効果があるかどうかを検証し、今後の対応を検討すべき。＝記念出場の意味合いが強い
6. IAS 支援会は、選手会の活動を継続してサポートする。継続的に行う方法を選手会で検討する。
7. 中部選手権シリーズにおいて、NB/J クラスをファーストクラスとセカンドクラスに分けて発表したのが、選手の反応もいまいちだった為、途中で実施を止めた。今後違う企画を検討する。
8. 12月2日に西TR委員長がまかべTRランドで開催するどビギナー大会を視察する。
9. 全日本ではスクールは困難な為、試乗会に集中することが決定しており、中部大会で試乗会が開催された。34名以上の参加者が集まったことが報告された。
10. インストラクターの資格者のスクールは申請無料にできないか？ → MFJ事務局で検討
11. 競技を知らない人へのアプローチとして、JKAとMXキッズスクールとしてTEが開催しているイベントのコラボでTRデモンストレーションを行えないか？MFJ事務局よりJKAに提案してみる。
12. 中国大会では、クラス間のインターバルをあけて、クラス別のスタート時間をポスターなどに掲載し、観客が来場する際に目安とできることを狙っている。他大会でも同様の対策がとれないか？については、日没や参加台数により変わる。
今年の中部大会は、IB→IAS→IAの順番に出走させ、IASのSSまでの時間的な余裕を作り、SSは時間を設定せずに全員でセクションごとに移動するような趣向は好評だった。
九州大会の予選・決勝方式は一旦元に戻し、他大会と歩調を合わせる。
西委員長が競技方式の統一化の指針を作り、来季のシリーズに適用する。
13. セクション数の統一化は、TR委員会での指針を提示されたが、競技時間やセクション移動距離の長さの問題は無いのか？世界選手権でも観戦のしやすさをひとつの興業的要素に盛り込んでいるが、全日本の様な施設外での開催だと難しい部分はある。お客さんが休憩をとる時間が設けてあることは重要。セクションの数を減らすことは選手側にとっては受け入れられないのでは？観客だけの目線ではなく、ライダーが満足するセクション・コース作りも重要な要素である。観客が集まれば、協賛スポンサーがつくし、それが選手にも返ってくることは期待できる。トイレや出店の拡充や移動路を外周にすることも観客にとっては必要な要素だ。
14. 中部大会において、QRコードによるIASリザルト配信は非常に効果的であった。SSの解説も好評。
15. 日本トリム様の協賛により、主催者の負担軽減につながる施策が提案された。
16. サイン会は継続して実施する。
17. エントリーリスト、スタート順、セクションマップは、主催者(加盟団体)のHPだけでなく、MFJオンラインマガジンの観戦情報にアップすることは可能な為、資料の支給を要望する。

以上